

2025 年度 地域志向活動助成金 活動概要報告書

令和8年3月5日

千葉商科大学学長 様

しろい市民まちづくりサポートセンター 渡辺 欣夫

地域志向活動助成金による活動の概要について、下記のとおり報告いたします。

記

活動名称: 鎌ヶ谷市、白井市、印西市 3 市合同ワカモノ防災キャラバン
『いきのこれ!!まなぼ一祭』

主催: (一社)鎌ヶ谷マネジメントラボ、しろい市民まちづくりサポートセンター、
印西市市民活動支援センター

共催: 千葉商科大学総合政策学部

後援: 鎌ヶ谷市、白井市教育委員会

企画運営: 千葉商科大学大学生、鎌ヶ谷マネジメントラボ、しろい市民まちづくりサポートセンター、印西市市民活動支援センター

1. 活動の目的と背景

近年激甚化する自然災害に対し、地域の「自助・共助」の要として若者の力が期待されています。本プロジェクトは、千葉県北総地域の3市(鎌ヶ谷・白井・印西)が連携し、大学生が主体となって地域相互の防災意識を高める企画・運営を行うことで、以下の達成を目指しました。

- **地域防災力の向上:** 若者ならではの視点で、子どもや家族の防災意識を高める
- **広域連携の構築:** 自治体の枠を超えた「3市合同」のネットワークを形成する
- **学生の成長:** 企画から予算管理、運営までを経験し、社会参画意識を醸成する

2. 活動の概要

「一緒に考えて学ぼう」をコンセプトに、3会場をオンラインで結ぶハイブリッド型の防災イベントを実施しました。

① 実施体制

学生が以下の3チームに分かれ、専門性を持って準備に当たりました。

- クイズ制作チーム(5名): 過去の災害映像を活用した啓発資料や、3市の特徴を盛り込んだクイズを作成し、クイズイベント運営
- リュックづくりチーム(6名): A3用紙とカードを使い、もしもに備えた防災リュックづくりを学ぶワークショップを企画実施
- イベント運営チーム(6名): 広報チラシ作成、会場設営、オンライン中継の進行管理、縁日企画(上記以外の当日参加学生ボランティア17名)

② 開催実績

- 開催日時: 2025年12月20日(土)13:45~15:45 3か所同時開催
- 拠点会場: 鎌ヶ谷市総合福祉センター(全体MC拠点)、しろい市民まちづくりサポートセンター、印西市市民活動支援センター
- 動員数: 鎌ヶ谷会場100名、白井会場60名、印西会場100名
- 主な内容: 3市対抗オンライン防災クイズ、オリジナル防災リュック制作ワークショップ、防災縁日など。

3. 活動の成果

① 学生にとっての教育的効果

単なるボランティアではなく「企画・実施・運営のすべて」を経験したことで、以下のスキル向上が見られました。

- **実務能力:** 予算管理、自治体・NPOとの折衝、広報物制作
- **適応力:** 協働力、コミュニケーション力、主体性、実行力等を組み合わせた多様なイベント運営業務の遂行

② 地域への貢献

- **多世代交流:** 大学生が企画・運営役となることで、子どもたちが親しみやすく防災を学ぶ機会を提供。

- 広域連携のモデル化：3市が手を取り合うことで、一自治体では困難な規模の集客と話題性を獲得しました。

4. 課題と今後の展望

- 課題：3会場同時進行によるオンライン中継の技術的ハードル
- 展望：今回構築した3市のネットワークを継続させ、次年度以降はさらに学生の主体性を高めた「3地域ネットワーク企画」へと発展させる。

5. 活動写真

■鎌ヶ谷会場



■白井会場



■印西会場



6.本プロジェクトの特長について(備考)

本活動は、大学での学びを地域課題(防災)の解決に直結させた「実践型」の活動です。特に3市の行政・NPO・市民団体が密接に連携した点は、他にはない本プロジェクト独自の強みであり、学生が社会人基礎力を高める絶好の機会となりました。